

宮崎県においてH5亜型の 鳥インフルエンザウイルス抗体検出!!

【農場概要】

場 所 宮崎県 児湯郡 川南町

飼 養 鶏 120日齢 種鶏 約2万羽

ウイルス分離検査および遺伝子検査については陰性であったため、当該農場については農場監視プログラムを適用(詳細は裏面の宮崎県プレスリリースを参照ください)

**生産者の皆さまには今回の事例を踏まえ改めて
以下の防疫対策の徹底をお願いします!!**

「飼養衛生管理基準」の遵守徹底

○飼養家さんの健康観察

異常家さんの早期発見・早期通報

○野鳥・野生動物の侵入防止

○消毒の徹底:

消毒槽、農場専用の衣服・長靴の使用

○部外者の出入り制限

○入退場する人や車両についての記録

異常家さんを見つけた時は、直ちに家畜保健衛生所にご連絡ください。



「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づく農場監視プログラムの実施について

平成25年6月3日
家畜防疫対策課

児湯郡川南町の養鶏場において実施した県のモニタリング検査において、臨床的異常所見を伴わないが、H5型の抗原に反応する抗体が確認されたため、国の「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該農場に対する農場監視プログラムを実施することとしました。

1 実施農場

児湯郡川南町 養鶏農場（飼養羽数 約2万羽）

2 経 緯

- | | |
|-----------|--|
| 5月20日 | 県宮崎家畜保健衛生所（以下、「家保」）が当該農場においてモニタリング検査を実施し、サンプルを採取 |
| 5月23日～27日 | 抗体検査（ELISA法、ゲル内沈降反応検査）において陽性を確認 |
| 5月28日～31日 | 再検査を実施し、遺伝子検査で陰性、抗体検査（ゲル内沈降反応検査）で陽性を確認 |
| 6月2日 | （独）農研機構動物衛生研究所の抗体血清型別検査によりH5型の抗原に反応する抗体であることを確認 |
| 6月3日 | 家保のウイルス分離検査により陰性を確認 |

3 農場監視プログラムの主な措置

- (1) 当該農場からの生きた家きん、家きん卵等の移動制限
- (2) 当該農場を中心とした半径5キロメートル以内の区域にある農場への立入検査等

4 備 考

これまで当該農場からの家きん等の移動は自粛されている。

また、遺伝子検査やウイルス分離検査の結果から、現在までウイルス自体は確認されておらず、臨床症状も確認されていない。